

また、電車が止まった被災当日は、全職員1332人中、693人(52%)しか定時出勤できていませんでしたが、市は「行政機能は低下していません」と判断し、BCP(業務継続計画)を発動しませんでした。

計画通りにしなかったの？あれだけの被災なのに？あり得ない!!

えええー!!

本部は朝8時に設置しています。その後16時半には2万6600軒が停電していることが分かりました。これは市内の約34%です。せめてそこで計画通りに...

今回の一般質問はどうだったの？

はい。台風災害を検証し、次の災害に備えるべく登壇しました。調べると様々な課題が見られました。調べると例えば、災害対策本部の設置はされたのですが、防災計画とは異なり、機能が大幅に縮小されて設置されました。

ちよつと酷いねえ!! 半数程度しか来ていないのに、行政機能が低下してないなら、普段いる職員の半数は不要ってことになるんじゃないか!?

それに加えて、災害対応をさせられることになったのですから、無理が生じますよね...

半数程度の職員数では、通常業務を正常に遂行することが大変です。

BCPが発動されないと

応急業務が増加すると予想される中、職員が半数程度で通常業務も正常に遂行するのは、まず、不可能です!

増加

応急業務

しかも!! 693人で対応

通常業務 1332人

そのまま

通常業務

BCPが発動されると

優先的に実施すべき業務(非常時優先業務)が、特定されているので、通常業務が減り、職員が半数程度になったとしても、応急業務に対応できる!

増加

応急業務

発災後、新たに応急業務が発生することにより急激に増加。

減少

通常業務 1332人

「非常時優先業務」のみ継続する。

BCP(業務継続計画)は、行政が被災し資源制約下であっても、災害対応等の業務を適切に行うためのものです。

BCPは、そうした事態を回避するための計画なんですよ?

はい...ですが、市は当時BCP発動の検討さえしていなかったのです。

突発的な災害で、目の前の対応に追われ失念してしまつた...と願っています。ですが、それでも職員の皆さんは、通常業務終了後などで必死に災害対応されていました。ブルーシート張りでは自衛隊の方々にその大半を手助け願うことになりましたが...

普段の業務をやりながらじゃ災害対応は手薄になるよね。だけど、自衛隊だって本来の国防業務を離れて応援に来てくれているのに、自分たちは通常の業務を普段通りにしているのではちよつと釈然としないな...

そこなんです! 市は自衛隊に応援要請をして災害対応をしてもらいながら、職員には普段どおりの業務をさせていたことになりました。

結果として、このような形となり、職員の皆さんも心苦しかったらどう思います。

混乱していた状態だったからこそ、トップは統制管理を徹底してほしかったね。

私の指摘を受けて、市はBCP(業務継続計画)の発動基準の明確化と一連の災害を検証することになりました。次の災害に備え、速やかな対処を求めていきます!



成田市議会議員

WAVE

Shingo Amamiya Narita City Report

Vol.51

一連の台風災害は 見通しの甘さが大きな要因

過去最強クラスの台風15号が9月9日未明に成田市を含む千葉県各地を襲いました。強風は屋根を吹き飛ばし、送電鉄塔2基を含む数千本の電柱に損傷を与え、一時90万戸以上の大規模停電が発生し、成田市においても9日16時半時点で2万6600軒もの大規模停電が発生しました。そして、停電の長期化による通信機能や、上・下水道などの生活インフラの崩壊が被害をより深刻化させました。わたしたちの日常生活は「電気」がなくては成り立ちません。冷蔵庫やエアコンなどの電化製品はもちろんのこと、オール電化された家庭や井戸水を組み上げている家庭など

では生活用水の確保も困難となり、文明社会はいとも簡単に崩壊させられました。被害が拡大した原因は、情報不足による初動対応の遅れが大きな要因になったのではないかと考えています。被災当初、数日で復旧すると発表された停電が長期化したことは、東京電力と千葉県それぞれが「見通しの甘さ」「被害状況確認の遅さ」を認めています。電気も水道も途絶えたなか、的確な情報を得ることもできず困難に耐えていた被災者の方々を思うとき、対応の甘さに対し憤りを覚えずにはられません。

市民の皆さまに役立つ情報や、成田市の今!を活動日記で積極的に更新しています!是非ご覧ください!!

あましんHP

雨宮しんご 検索

www.ama-shin.net

迫りくる高齡化と人口減少。

求めてられる公共交通。

公共交通の課題は多く、採算性に伴う民間交通事業者の路線撤退や高齡化による交通弱者の増加など、新しい地域公共交通ネットワークが求められています。成田市の公共交通は、JR線、京成線、コミュニティバス、オンデマンド交通、民間バス、タクシーで形成され、市民の日常生活における移動手段となっています。ですが、自家用車を利用するライフスタイルの定着により公共交通の利用率は低下傾向にあるため、公共交通を維持・確保するための公費負担が増加しています。

ですが、これから訪れる超高齢・人口減少社会での公共交通の役割は大きくなるため、従来の交通政策に加え、まちづくりと一体になった政策が必要です。成田市では地域公共交通網形成計画を策定中で、「これからの公共交通」について意見交換会が適宜開催されています。



意見交換会の模様

地域公共交通政策は、交通事業者との連携によるネットワークの再構築はもとより、利用者である市民の皆さんが「何を求めているか」の視点が不可欠です。

是非、皆さんの声をお寄せください！

NAAは騒音地域への「内窓設置」を推進中ですが、騒音が軽減する一方で、防災無線が聞き取れず一連の災害時にご不便されたとの声が寄せられました。内窓設置に併せて個別受信機の設置などを要望しています！

夜間発着時間延長後の住民意見は騒音対策で6件！（成田市は3件）

成田空港機能強化！

成田空港は、午後11時までだった発着時間を午前0時までの1時間延長することが合意されました。これは空港開港から41年間で初めての歴史的な決断です。すでに夜間発着時間の延長は、2019年10月27日の冬ダイヤからA滑走路で先行して実施されているのですが、夜間発着時間延長による騒音における

住民意見は空港周辺で6件(成田市は3件)だったことがわかりました。NAA(成田国際空港会社)では、延長時間帯である午後11時以降の発着機を低騒音機に限定するなど騒音地域への配慮も講じています。空港機能強化は騒音地域住民のご理解の上に立っているという認識を持ち、引き続き地域に寄り添った共生策を求めてまいります。



成田市議会議員政治倫理条例の制定に向けて

今任期において、議会運営委員会の委員長を仰せつかった私がまず取り掛かったことは、「議員政治倫理条例」の制定に向けた議論です。これまでの経緯を報告いたします。

政治倫理条例制定の背景

政治倫理条例は、平成27年4月1日施行された議会基本条例に政治倫理について記載されています。

成田市議会基本条例 第22条 議員は、市民の代表として名誉及び品位を損なう行為を慎み…議会の一員として、その使命の達成に努めなければならない。

この時に、政治倫理条例の制定も検討されましたが、基本条例を優先するため見送られました。その後、前任期中に発生した議員の不祥事による機運の高まりにより、協議に取り掛かりました。

成田市議会議員政治倫理条例の特徴

成田市議会における政治倫理条例(素案)では、以下の案について特に積極的な協議が重ねられ、特徴的な条文として盛り込まれています。



1 前任期中に発生した議員辞職が、当該議員が市から直接運営に対する補助金の交付を受けていた団体の長という立場にあった中で、不正を行っていたという経緯を踏まえ、市から直接運営に対する補助を受ける団体の長に就任することを禁止すること。

2 議員が経営する会社と自治体との取引は、すでに「地方自治法」で規定されています。

議員の兼職禁止 第92条の2 普通地方公共団体の議会の議員は、当該地方公共団体に対し請負をする者及びその支配人又は主として同一の行為をする法人の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれに準ずべき者、支配人及び清算人たることができない。

今回の成田市議会政治倫理条例では、法律では規定されていない「議員の配偶者、2親等以内の親族もしくは同居の親族が経営している法人」または、「議員が実質的に経営に携わっている法人」についても、市との請負契約などは辞退するよう範囲を広げて規定しています。

政治倫理条例の制定に向けてパブリックコメントを実施します！

ご意見をお寄せ下さい！

このほど「成田市議会政治倫理条例の素案」が取りまとまったので、広く市民の皆さまにご意見を求める「パブリックコメント」を実施します！

パブリックコメントの実施期間 2020年1月15日～2月15日

このパブリックコメントでは、条例案に対するご意見(否定的なもの、肯定的なもの問わず)を積極的にご提出いただければと思います。市民参加の機会となりますので、是非この機会を逃すことなくご活用ください！

これからも、あるべき議会の姿を模索しながら、真摯に向き合っています！